

2026年3月期（第208期）決算について

2026年5月8日

大阪ガス株式会社

1. 経営成績（2025年4月1日～2026年3月31日）

(1) 決算の概要

当期の売上高は、国内エネルギー事業で原料費調整制度に基づきガス販売単価が低めに推移したことなどにより、減収となりました。経常利益は、海外エネルギー事業での米国フリーポート液化基地（LNG）や米国上流事業のサビン社での好調などにより、増益となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、増益となりました。

また、タイムラグ影響を除いた経常利益は、増益となりました。

[単位：億円]

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
連結	20,303 (△1.9%) [20,690、△387]	1,748 (+8.8%) [1,607、+140]	2,045 (+7.8%) [1,896、+148]	1,527 (+13.6%) [1,344、+183]
	タイムラグ影響を除いた実績		1,953 (+5.4%) [1,853、+100]	—

[] 内は前期実績及び対前期差、()内は対前期増減率

(2) セグメント別概況

「国内エネルギー」のセグメント利益は、電力事業における姫路天然ガス発電所1号機の運転開始に伴う費用増加などにより、減益となりました。「海外エネルギー」のセグメント利益は、米国フリーポート液化基地（LNG）や米国上流事業のサビン社での増益などにより、増益となりました。「ライフ&ビジネスソリューション」のセグメント利益は、都市開発事業での増益などにより、増益となりました。

[単位：億円]

	売上高	セグメント利益 (注)
国内エネルギー	16,434 (△5.4%) [17,379、△944]	719 (△7.2%) [775、△56]
海外エネルギー	1,437 (+12.2%) [1,281、+156]	883 (+22.9%) [719、+164]
ライフ&ビジネスソリューション	3,198 (+13.2%) [2,824、+373]	374 (+30.2%) [287、+86]

(注)セグメント利益：営業利益+持分法投資損益 [] 内は前期実績及び対前期差、()内は対前期増減率

(3) 国内ガス販売実績

国内の連結ガス販売量[45MJ/m³]は、前期を下回りました。家庭用のガス販売量は、冬場の高気水温の影響などにより、業務用等のガス販売量は、特定のお客さま先での設備稼働減などにより、いずれも前期を下回りました。

連結ガス販売量（百万m ³ ）	6,560（△ 1.4%）
家庭用	1,644（△ 0.9%）
業務用等	4,916（△ 1.5%）
連結ガス供給件数（千件）	5,161（+ 0.9%）

（ ）内は対前期増減率

(4) 国内電力販売実績

国内の電力販売量は、夏場の高気温の影響や新規契約の獲得などにより小売販売が増加し、前期を上回りました。

電力販売量（百万kWh）	17,238（+ 1.5%）
小売	7,776（+ 3.6%）
卸等	9,462（△ 0.1%）
低圧電気供給件数（千件）	1,946（+ 1.3%）

（ ）内は対前期増減率

2. 次期（2027年3月期）の見通し

2026年3月13日に公表した業績予想から修正はありません。

なお、現在の中東情勢について、足元のLNG調達や都市ガス・電力供給に大きな影響はない見込みです。一方で、市況変動などにより、次期（2027年3月期）以降、当社グループの決算で影響を受ける可能性があります。

原油価格・為替レート的前提については、足元の状況を踏まえ、今後適切に見直していきます。

[単位：億円]

	連結
売上高	20,700（+ 2.0%）
営業利益	1,500（△14.2%）
経常利益	1,900（△ 7.1%）
親会社株主に帰属する当期純利益	1,450（△ 5.1%）

（ ）内は対当期増減率

（参考）原油価格・為替レート的前提（2026年4月1日～2027年3月31日）

原油価格（全日本C I F価格）：65ドル/バレル、為替レート（T T M）：155円/ドル

3. 配当の状況

[単位：円]

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	—	47.50	—	47.50	95.00
2026年3月期	—	60.00	—	60.00	120.00
2027年3月期(予想)	—	65.00	—	65.00	130.00

以上